

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○				○

企業の概要

企業・団体名	サンアロマー株式会社	本社所在地	東京都
業種	製造業	総従業員数	224名
事業概要	合成樹脂の製造・加工及び販売		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク規程
テレワーク担当部署	経営管理本部事務管理室
テレワーク対象者	テレワーク実施を本人が希望し、会社が認めた者、または会社が必要と認めた者
実施者数	62名
平均実施日数	月12回以上16回未満程度(概ね週3~4回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2009年 新型インフルエンザの流行を契機とし、BCP対策としてリモートワーク環境を整備、以降定期的にリモートワーク訓練を実施
- 2011年 東日本大震災においてリモートワークの有効性を確認
- 2018年 主に育児中の従業員および介護をおこなっている従業員を対象とした在宅勤務制度(日数上限あり)を導入
- 2020年 コロナ禍を契機とし、在宅勤務制度の対象・日数上限を緩和
- 2021年 多様な働き方の選択肢の一つとして、また、働きがいの向上に向けた取り組みを推進するため、従来の在宅勤務制度からさらに対象者、就業場所、日数などを拡大したテレワーク規程を整備

テレワークの概要・特徴

【社会的責任として】

- 当社ではテレワークを「情報通信技術を活用した、場所にとらわれない柔軟な働き方」と位置付けている。
- パンデミックや大規模災害が発生した場合でも、テレワークを活用することで事業活動を継続し、「社会生活に必要な不可欠な製品を供給する」という当社グループの社会的責任を果たしていく。

【働き方の選択肢として】

- テレワークの活用によって生産性向上および仕事と生活の調和を実現し、従業員の働きがいの向上につなげることをねらいとしている。
- そのため、対象者、勤務場所を限定的にせず(一部製造グループを除く)、フレックスタイム制と組み合わせる柔軟な働き方ができるようにしている。

【テレワーク環境の整備】

- ハード面ではオフィスにおいてWeb会議を円滑におこなえる機器を整備しており、リモートでの会議をスムーズにおこなえる環境を整えている。
- また、ソフト面ではテレワークマニュアルを作成、従業員に展開し、円滑に業務が遂行できるよう啓発をおこなっている。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- HQ(東京)、支店(名古屋、大阪)、研究所(川崎)、製造拠点(川崎、大分)が全国に点在しており、テレワーク導入前は拠点間をつなぐ会議等はオフィスに來なければ実施できなかったが、テレワーク環境の整備によって、場所の制約を受けることなく会議や面談を実施できるようになり、コミュニケーション密度が向上した。
- 2020年以降のコロナ禍により特にオフィス勤務者を対象に「常態としてのテレワーク」を導入。社会的に要請される出社率7割減等へも業務効率を犠牲にすることなく貢献することができた。